

新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)(インフラ整備事業を除く。)事業に係る事業評価【検証シート】

事業年度	令和7年度
検証実施	令和8年度

	A	B	C	D					E		F		G	
	交付対象事業の名称	交付金の種類	事業実績額 単位:円	本事業における重要評価指数 KPI (R7年度末)				本事業終了後における実績値 (R7年度末)		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	単位	事業開始前	目標値	実績値	a 事業効果	b 事業の評価	c 外部有識者からの意見	d 今後の方針	e 今後の方針の理由	
1	多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)	16,207,750	指標①	外部から地域に越境し居住する中高生の数	人	21	22	27	①	①	この事業に関しては、地方版総合戦略のKPI達成に有効であったといえる。しかし、高校に重点を置いた事業であるので、デジタル技術を活用し、中学生まで範囲を広げた事業展開を望むものである。また、KPI指標④に関しては、他の団体との比較を行うことなどの活用を図りたい。	①	KPIの目標値を達成することができ地方創生への効果が大きいと得られた。今後も目標値達成のために事業を継続していく。
指標②	越境プログラムへの参加中高生数	人	0	6	14	①								
指標③	オンラインプログラムへの参加中高生数	人	11	15	10	①								
指標④	課題解決型人財としての能力・意識に係る指標	%	73.4	75.6	76.7	①								

(E-a)

- ①地方創生に非常に効果的であった。(全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られた場合)
②地方創生に相当程度効果があった。(一部のKPIが目標に達しなかったものの、概ね成果が得られたと見なすことができる場合)
③地方創生に効果があった。(KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなすことができる場合)
④地方創生に対して効果がなかった。(KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言いがたい場合)

(F-b)

- ①地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。
②地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった。

(G-d)

- ①事業の継続 (計画どおりに事業を継続する)
②事業の発展 (事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)
③事業の改善 (事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う)
④事業の中止 (継続的な事業実施を予定していたが中止する)
⑤事業の終了 (当初予定どおり事業を終了する)